

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実

施策 交通環境の充実

基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 大麻東駅通り道路工事 (駅周辺バリアフリー化)

[0830]

部名	建設部	事業開始年度	平成20年度	実施計画事業認定	非対象
課名	都市建設課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>大麻東駅通り</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>道路利用者が安全で快適に通行できる交通環境を確保するとともに人に優しい歩行者空間を確保する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>大麻東駅通り(兵村12丁目通り~兵村14丁目通り)、兵村14丁目通り(大麻東駅通り~大麻中町28号道路) L=1,322mの歩道拡幅と両市道交差点の線形改良を行う</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	整備対象延長	m		1,322	1,322	1,322
対象指標2						
活動指標1	当該年度整備延長	m		212	488	622
活動指標2						
成果指標1	延べ整備延長	m		212	700	1,322
成果指標2	事故発生件数【】	件				
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	115,863	69,510	154,600
正職員人件費 (B)		千円	0	7,940	5,809	7,079
総事業費 (A) + (B)		千円	0	123,803	75,319	161,679

費用内訳	
21年度	委託料 7,100千円、工事請負費 62,410千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	本路線は大麻住宅地区とJR大麻駅を結ぶ補助幹線道路で通勤、通学路となっているが、歩道が狭小でバリアフリー化されておらず、歩行者、自転車の安全快適な歩道整備が必要であるため。	事業を取り巻く環境変化	
--------	----------------------------------------------------------------------------------------	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由
 ・
 根拠は？

道路管理者である市が実施することが妥当であるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由
 ・
 根拠は？

大麻団地からJR大麻駅に通う通勤・通学路であるが、歩道が狭く、バリアフリー化されていないことから整備することにより貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由
 ・
 根拠は？

計画に沿った整備が進められているため。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由
 ・
 根拠は？

短期間で道路整備を行うことにより安全で快適な歩行者空間が確保できるため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由
 ・
 根拠は？

北海道積算システムの導入により事務処理の迅速化を図っておりまた、設計単価等についても統一単価を使用しており削減は難しい。